

第97回メーデー長野中央集會に15名参加



【雨ニモ負ケズ訴え 安心して暮らせる社会の実現を!!】

5月1日(金)、長野市オリンピックセントラルスクウェアにて、第97回メーデー・長野中央集會が開催され、労組第一支部とワーカーズコープながのから計15名が、集會・パレード・団結會に結集しました。



ワーカーズコープながのの本部も幟旗を掲げ、メーデー集會への連帯を表しました。鈴木理事長はじめながの中央事業所などから5名が集會の開始から参加。開會時刻当初の本降りの雨の中、負けるものかと防水コートに身を固め、雨に立ち向かいながらステージを見守り、ともにパレード最終地点までを踏破しました。



労協ながの第一支部の執行委員のメンバーは、当日準備など大会運営の役割を担い、積極的に協力してくれました。高校会館、長野中央病院各現場などから結集した労協ながの第一支部の仲間とワーカーズコープながのの参加者の仲間の熱意に押し返されたのでしょうか、パレード開始時刻には雨もすっかり止んでいました。

執行委員の皆さんは、メーデー本番のために数日前から自主制作していたプラカードを掲げて、労働者の暮らしの厳しさ、物価高に対応した賃金アップを後押しする政策の実現を訴えました。



無事に第97回メーデーを貫徹した後は、長野駅近くの食堂「飛騨」にて、ささやかではありましたが団結会を開催。楽しい昼食をともにして仲間と交流を深めました。

